

<アンケート結果からの考察>

◎ 成果

- ・児童アンケートの「まわりの人がよく手助けしてくれる」の肯定評価が7月のアンケート結果よりも増えて92.6%となっている。日常の授業の中でのグループ学習や縦割り班掃除での協力が定着するなど、子どもたちが相互に助け合う雰囲気ができている。
- ・児童アンケートの「安心して学校生活を送ることができる」の肯定評価が7月のアンケート結果よりも増えて90.1%となっている。また、「先生は、困ったときにすぐに相談にのってくれたり、対応してくれたりする」の肯定評価が92.1%であることから児童同士、児童と教職員の良好な人間関係や相談しやすい雰囲気ができている。
- ・児童アンケートの『「だまって」「いっしょうけんめい」「すみずみまで」「きれいに」のそうじがきちんとできている』の肯定評価が95.1%という結果から、子どもたちが「だいすき掃除」を意識しながら掃除に取り組んでいる成果が現れている。また、保護者アンケートの「学校はいっしょうけんめい掃除に取り組むよう指導し、美しい環境や豊かな人間性を育てている」の肯定評価も93.2%あり、環境美化や豊かな人間性の育成という学校の取組に一定の理解と評価をしていただいている。
- ・児童アンケートの「登下校や日々の生活の中で、交通安全に気をつけている」の肯定評価が96.2%という結果から、児童は交通安全に気をつけていることがうかがえる。また、保護者アンケートの「学校は交通安全教室や登下校時の安全指導を適切に行い、児童の交通安全に努めている」の肯定評価が92.7%、地域アンケートの「児童は、登下校中に交通安全に気をつけている」の肯定評価が91.6%であることから、スクールガードの方や保護者の方のご協力、学校での交通安全教育への取組や指導の成果が現れている。
- ・保護者アンケートの「教員はわかりやすい授業を行うように努力し、子どもの学力向上に取り組んでいる」の肯定評価が7月のアンケート結果よりも増えて92.7%となっている。授業の様子を参観日や学校公開で見させていただいたり、各種便りで知らせしたりする中で、授業改善や学力向上への取組に一定の理解と評価をしていただいている。
- ・地域アンケートの「学校は、地域とともにある学校づくりを推進している」の肯定評価が95.9%、「学校への協力や訪問には抵抗がない」が97.9%という結果から、学校に協力しようと思っておられる方が多く、学校と地域の協力関係が深まっていると考えられる。外部講師を招聘した授業づくりや地域と連携した活動、あったかネットをとおした取組などの成果がみられる。今後も登下校の児童の安全、環境整備、行事等、地域の方に協力いただきながら、地域とともにある学校づくりをめざしていく。
- ・地域アンケートの「学校は学校公開日や学校だより、ホームページ、正門前の掲示板などを利用して、学校や児童の様子を積極的に情報発信している」の肯定評価が100%という結果から、地域の方が学校に高い関心を寄せていることがうかがえる。今後も学校の活動や児童の様子などを積極的に知らせ、地域に開かれた学校づくりを進めていく。

● 課題と今後の取組

- ・児童アンケートの「授業では、進んで発表したり、話し合い活動に参加している」の肯定評価が82.2%と他の項目に比べて低い。さらに授業改善を進め、全ての児童が主体的に授業に参加し、児童同士がお互いに関わり合いながら、主体的・対話的で深い学びができるよう取り組んでいく。
- ・家庭学習については、児童アンケート・保護者アンケートともに肯定評価が他の項目に比べて低い。家庭学習振り返り週間やメディアコントロール週間への取組、学習の手引きの利用等が形式的なものにならないよう、家庭と連携をとりながら家庭学習の習慣を身に付けさせていく。また、「自主学習ノートコンテスト」のような工夫した取組も計画してみる。
- ・児童アンケートの『チャレンジ目標「笑顔の輪 仲良くつなぐ 川下小」をいつも意識している』の肯定評価が82.4%と他の項目に比べて低い。チャレンジ目標は、週に1回、月に1回など定期的に振り返り、意識できるよう指導する。
- ・地域の行事や活動への参加については、児童・保護者・地域すべてのアンケートにおいて肯定評価が他の項目に比べて低い。しかし、重点参加行事である「くすのき花火フェスティバル」へは251名が参加（うち21名がソーラン発表）、「敬老のつどい」では23名が合唱を発表、デルタミネへは142名が参加（うち50名がソーラン発表）、とんど祭りへは205名が参加した。年々、地域行事に参加する児童は増えてきている。これまで行事前には保護者宛文書の配布やメール配信をしたが、今後はさらに学級で行事の内容や楽しさ、魅力を伝えて呼びかけたり、保護者への協力を文書やメールでお願いしたりしていく。
- ・あいさつについて、児童アンケートは91.9%、保護者アンケートは89.8%が肯定評価だが、地域アンケートでは79.2%である。地域でもあいさつができるよう指導していくとともに、家庭でもあいさつの習慣化に協力していただく。